

銘傳大学日本語教育実習

プログラム区分	海外実習
主幹部署・問合せ先	国際日本学科
研修先国・都市名	台湾・桃園市
研修先	銘傳大学
プログラム概要	<p>銘傳大学での2週間にわたり日本語教員養成のための教育実習を実施する。その主な内容は以下の4点である。</p> <ol style="list-style-type: none">(1)銘傳大学における各種日本語授業の参観、および高校の日本語授業でのプレゼンテーション、授業アシスタント(2)銘傳大学での教壇実習のための事前指導、および教材作成などの準備(3)2回の教壇実習と事後の指導(4)実習報告書の作成 <p>実習中は、銘傳大学が提供する宿泊施設に滞在し、桃園キャンパスで教育実習を行う。銘傳大学の学生たちと頻りに交流の機会を持ち、台湾人学習者の視点から日本語教育について考え、同世代の台湾人学生との交流や異文化体験を通して、異文化コミュニケーションについて考える機会が得られる。</p> <p>日本語教師志望者だけでなく、中・高等学校の国語教師を目指す学生にとっても貴重な体験が得られる実習である。</p>
日程	出発予定時期：2026年3月上旬 帰国予定時期：2026年3月中旬 期間：2週間
単位認定	合計2単位 「日本語教育実習E（海外）」1単位 「日本語教育実習指導E」1単位
他学科生の受入れ	不可 受入れ可の他学科：-
語学研修の有無	無
引率者の有無	有
住形態	現地ホテル
その他	<ul style="list-style-type: none">・上記内容は変更する場合がある。本実習の詳細は、募集説明会の際に確認すること。・実習参加前までに履修しなければならない科目がある。詳細は、学科事務室に問い合わせること。・台湾渡航前に15コマの集中講義「日本語教育実習指導E」を行う。この授業にすべて出席し、事前課題の提出が完了していることが教育実習参加の条件である。

体験記

銘傳大学日本語教育実習に参加して

氏名：森 鈴花 （2024 年度参加）

台湾・桃園市の銘傳大学で2週間の日本語教育実習を行いました。私は海外への渡航経験、教壇実習経験がなかったため、この2週間は初めての経験が多く、とても刺激的な日々を過ごしました。

教壇実習は実習生1人につき、それぞれ2コマずつ担当させていただきました。未経験の私が教壇に立てるのかという大きな不安もありましたが、本学や現地の指導教員の方々から手厚いサポートを受けることができたため、当日は自信を持って楽しく授業を行うことが出来ました。そして一緒に参加した実習生同士でアドバイスを出し合いながら準備を進めることで、互いに切磋琢磨し、教師として大きく成長できました。

また、現地の学生ボランティアの方々との多くの交流の機会をいただきました。授業後には大学付近の飲食店でご飯を食べながら交流をし、休日は電車に乗って観光をしました。現地の人たちと一緒に台湾の街を楽しむことができ、二度とない貴重な時間になりました。私はこの休日に「淡水」という港町と、士林夜市へ行きました。台湾人の温かい人柄や賑やかな街の雰囲気、台湾グルメなどを楽しむことができ、とても充実した1日になりました。

今回の実習を通して、日本語を教えることの楽しさはもちろん、仲間達と助け合うことの大切さや新しい出会いの素晴らしさ、そして異文化交流の楽しさなどを改めて実感することができました。

そして今回の経験で自分自身の目標が明確になり、台湾という国が大好きになりました。この場をお借りして、貴重な機会を与えてくださった本学の皆様、銘傳大学の教員・学生の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

